

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2004-68901(P2004-68901A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-228040(P2002-228040)

【国際特許分類第7版】

F 1 6 F 9/14

// A 4 7 K 13/12

【F I】

F 1 6 F 9/14 A

A 4 7 K 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ケーシングと、

当該ケーシング内に仕切などで仕切られる少なくとも1つ以上のシリンダー室と、

当該ケーシング内に回転自在となるよう挿入配設されている円柱状羽根軸と、

当該羽根軸のケーシングに対する相対的な回動によって、ケーシングの内周壁面を摺動可能となるように、当該羽根軸の外周にあってその径方向に突設した羽根と、

当該羽根により前記シリンダー室が縦割りに仕切られてなる二つ以上の室と、

当該室と室の間に設けられた第1の流路と、

当該各室に充填される作動油とを備え、

一回転方向への外力に対する抵抗力を、前記室から室へ前記第一の流路を伝って作動油を移動させることで得るダンパー装置において、

前記羽根が、前記外力が減衰した場合、外力が最大となる角度から目的とする角度までの区間にわたり、作動油の移動量を調整する第2の流路を設けたことを特徴とするダンパー装置。

【請求項2】

前記作動油の移動量を調整する第2の流路を、ケーシングに設けたことを特徴とする、請求項1記載のダンパー装置。

【請求項3】

前記作動油の移動量を調整する第2の流路を、羽根軸に設けたことを特徴とする、請求項1記載のダンパー装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために請求項1は、ケーシングと、当該ケーシング内に仕切などで仕切られる少なくとも1つ以上のシリンダー室と、当該ケーシング内に回転自在となるよう挿入配設されている円柱状羽根軸と、当該羽根軸のケーシングに対する相対的な回動によって、ケーシングの内周壁面を摺動可能となるように、当該羽根軸の外周にあってその径方向に突設した羽根と、当該羽根により前記シリンダー室が縦割りに仕切られてなる二つ以上の室と、当該室と室の間に設けられた第1の流路と、当該各室に充填される作動油とを備え、一回転方向への外力に対する抵抗力を、前記室から室へ前記第一の流路を伝って作動油を移動させることで得るダンパー装置において、前記羽根が、前記外力が減衰した場合、外力が最大となる角度から目的とする角度までの区間にわたり、作動油の移動量を調整する第2の流路を設けたことを特徴とするダンパー装置によって、開閉する物体を、目的とする位置の手前で停止又は脈動しながら回動することなく、初期位置から目的とした位置までスムーズに回動することが可能となる。